
別れのプレリュード

高橋 美羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

別れのプレリユード

【Nコード】

N9739C

【作者名】

高橋 美羽

【あらすじ】

価値観…という言葉をきっかけに別れてしまった話。

テレビのワイドショーでは、ある有名タレントの破局報道が流れている。

……お互い、価値観が合わなかった……

これが別れの原因らしい。

…価値観ねえ…

この言葉を聞くと、いつもあの人の事を思い出す。

…昔の恋人の事だ。

『なあヒロ、俺のどこが好き？』

不意に、隆博^{たかひろ}が聞いた。

わたしは、少し悩んだ後、

『価値観が合う所かな』

そう答えた。

『どんな所が価値観…合うと思ってる？』

また、答えに困る質問だ。

今度はすぐ答えた。

『好きな物が一緒…とか、考え方が似てる所…とかかな』

…本当にそう思ったから、わたしは、そう答えた。

『価値観が合う…って言ったけどさ、例えば、片方は価値観が合う…って思っても、もう片方は相手に合わせてる…って事もあるでしょ』

予想もしてなかった、隆博の言葉。

思ってもみなかった。隆博に言われるまでそんなこと、考えた事…なかったのだ。

もしかしたら価値観が合うなんて、わたしだけの思い過ごしで、隆博は、私に合わせてるだけなんだろうか？

なんとなく、隆博に対する自分の気持ちを拒まれた気分だ…。

ついさっきまでは、大好き…の気持ちでいっぱいだったのに、急に気持ちが冷めていくのが解かる。

それから、しばらくして、私達は別れた。

別れた理由は、価値観が合わないから……

やっぱり隆博は、私に合わせていただけだったが、別れに関して
は、2人共…価値観が合ったのだ。

（後書き）

この話…私、高橋の実話です。これ以来、私の恋愛カテゴリーから【価値観】という言葉は消えました…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9739c/>

別れのプレリュード

2010年12月19日13時59分発行